TOKIGAWA

●交通のご案内●
ACCESS

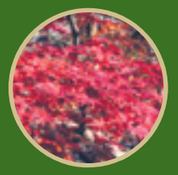
●お車をご利用の場合

関越自動車道東松山ICまたは嵐山小川ICより約20分
圏央道鶴ヶ島ICまたは狭山日高ICより約40分

●公共交通をご利用の場合

東武東上線「武蔵嵐山駅」西口から町路線バス乗車
JR八高線「明覚駅」から町路線バス乗車
JR八高線及び東武越生線「越生駅」から町路線バス乗車
JR八高線及び東武東上線「小川町駅」から町路線バス乗車

町の花／ミツバツツジ



町の木／ヤマモミジ

町の鳥／カワセミ

◎観光についての詳しいお問い合わせ◎

ときがわ町役場 産業観光課（第二庁舎）

〒355-0396 埼玉県比企郡ときがわ町大字桃木32番地

TEL.0493-65-1521㈹　TEL.0493-65-1532（直通）

ときがわ町公式ホームページ　http://www.town.tokigawa.lg.jp/

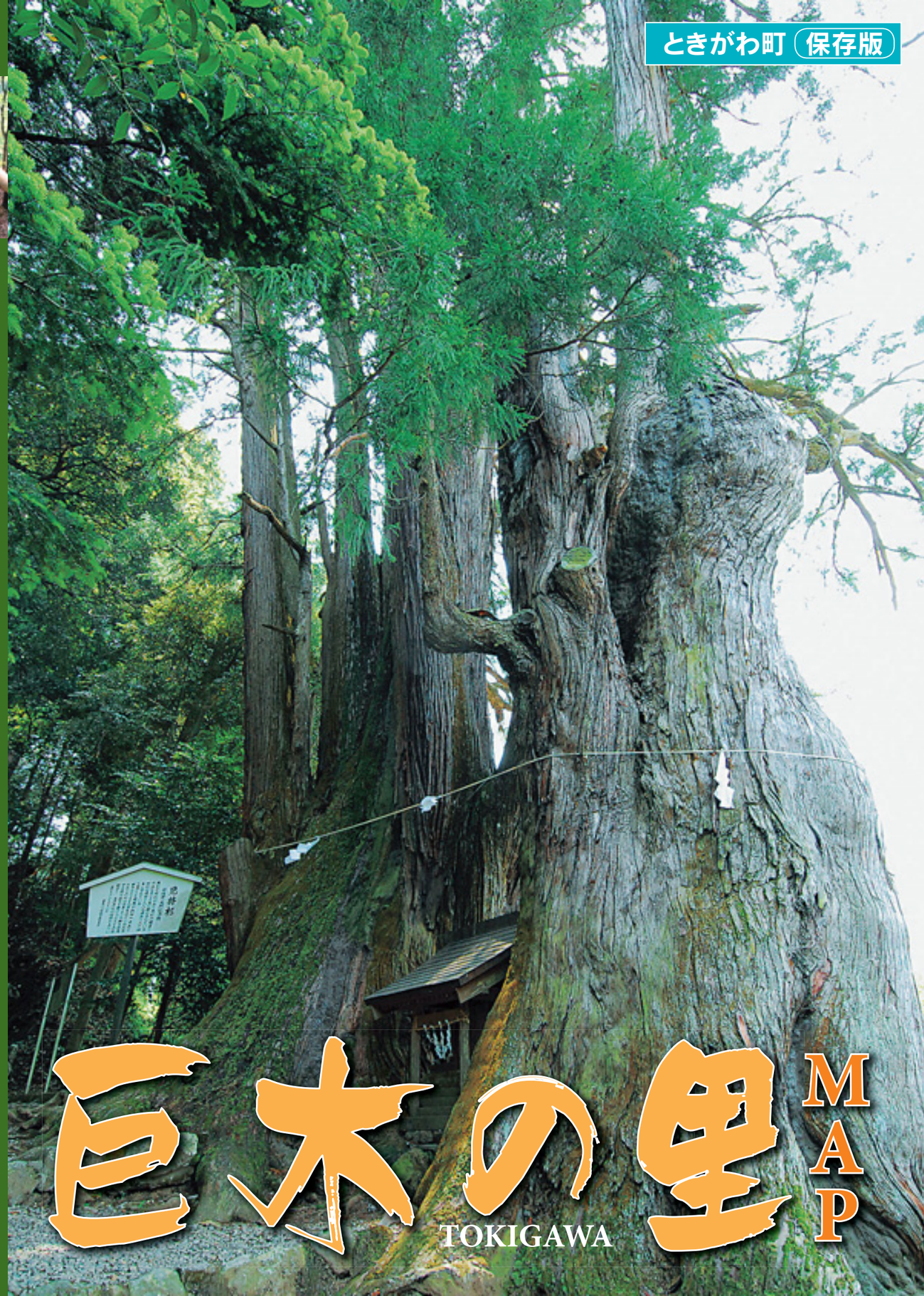
ときがわ町観光協会　駅前案内所「ここから」

〒355-0354　埼玉県比企郡ときがわ町大字番匠475番地2（JR八高線明覚駅舎内）

TEL.0493-59-8694

ときがわ町観光協会公式ホームページ　https://www.tokigawa-kankou.com/

2022.03.5,000



ときがわ町 保存版

巨木の里 MAP

TOKIGAWA

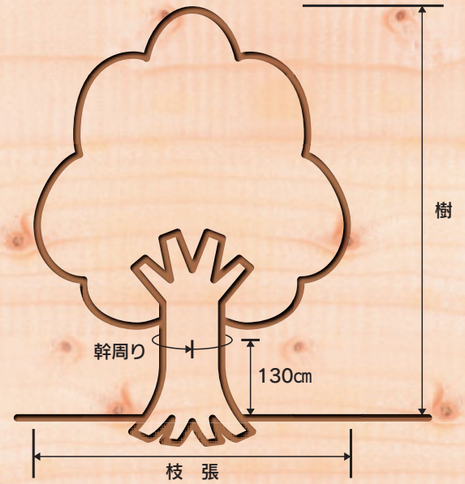
木のくにの巨木に会いに行こう。巨木の里ときがわ

TOKIGAWA

面積の約7割を山林が占め、
古くから“木のくに”として、
森や木々を大切に守り育ててきたときがわ町には、
神々しいまでの姿で存在する巨樹・古木が数多くあります。
幾歳月の風雪を耐え、圧倒的な迫力で迫りくる巨木たち。
刻まれた時を想いながら、語りかけてみませんか。

巨木とは？

環境省では「地上から130㎝の位置で幹周りが300㎝以上の樹木。なお、地上から約130㎝の位置において幹が複数に分かれている場合には、個々の幹周りの合計が300㎝以上であり、そのうちの主幹が200㎝以上のものとする」としていて、これが巨樹・巨木の一般的な定義となっています。



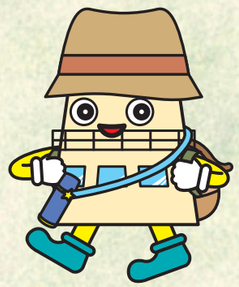
巨木めぐりにあたってのご注意

■出かける前に

- 険しい山道を歩かないとたどりつけない木があります。山歩きに適した靴や服装（長袖シャツ・長ズボン）で、雨具、飲み物、非常食、地図などを準備しましょう。
- 持ち物はザックなどに入れて背負い、両手が自由になるようにしましょう。
- カメラや写生道具など、目的に合わせた用具も持っていくとよいでしょう。

■現地では

- 何百年も生き続けている巨木はみんなのたからもの。マナーを守って接しましょう。
- 枝を折ったり、傷を付けたり、皮をはいだりすることは厳禁です。
- あまり近づきすぎると根元が踏み固められ、枯れる原因となります。
- 天候がくずれそうなときは、山に入るのはやめましょう。神社仏閣や道路沿いなど、気軽に近くまで行ける木もあります。
- 山道で迷ったり、道が崩れている場所があったら、引き返しましょう。
- 雨天では大変滑りやすくなる場所がありますので、十分注意をしてください。



ときがわ町マスコットキャラクター
ドームくん

⑥ 姥樫（うばかし）〈町指定文化財〉

C－2　埼玉巨樹番付「小結」

和名はアカガシ（赤樫）ブナ科の常緑高木で、比較的暖かい地方の山地に多い。地元では古くからウバッカシと呼ばれてきた。姥のような老樹という意味らしい。幹は大きくねじれることで、より頑強さを増している。イチイガシの巨木は多いが、アカガシでこれほどのものは全国的に見ても稀少である。幹周り：8.1m／樹高31.8m（2012年計測）

⑪ 多羅葉樹（たらようじゅ）〈県指定文化財〉

C－2　埼玉巨樹番付「前頭」

国宝、国指定文化財を有する慈光寺の本堂前に位置する。その肉厚で大きな葉に、昔人は文字を記し、葉書の元になったと言われる樹木。幹周り：3.43m／樹高：12m（2013年計測）

⑫ 児持杉〈町指定文化財〉

D－2　埼玉巨樹番付「関脇」

萩日吉神社鳥居の横に、ひときわ高くそびえる。男杉と女杉が合体した、この木を拝むと子宝に恵まれると言い伝えられている。推定樹齢：800年／幹周り：女杉 9.35m、男杉 7.15m／樹高：40m（2002年計測）

⑬ 大カヤ〈県指定文化財〉

D－3

萩日吉神社裏の町道を山道にそれ、急な山道を約3分程進むと、静寂な森林の中に、周囲に大きく枝を伸ばした巨大なカヤを目にすることができる。児持杉とあわせ、ぜひ一見したい。幹周り：7m／樹高：16m（2002年計測）

巨木の里ときがわ

❶七重のヤマザクラ B－2

バラ科の落葉高木。サクラの中でもエドヒガンは巨木になることが多いが、ヤマザクラの巨木は珍しい。これは県内最大の山桜で、ねじれた太い幹に特徴がある。ソメイヨシノよりも遅れて開花し、小ぶりな花を咲かせる。
幹周り：4.10m(2002年計測)
◆町指定文化財

❷石小土のヤマザクラ

B－3

バラ科の落葉高木。ヤマザクラとして際立って太いわけではないが、スギが植林される際にも切り倒されることなく保護されてきた。
幹周り：3.00m(2002年計測)

❸越沢稲荷の大スギ

C－3 埼玉巨樹番付「前頭」

スギ科の常緑高木。建築材として広く植えられ、特産の建具の材料にもなっている。たいていは30年から50年で伐採されるが、巨木として保護されているものも少なくない。このスギは萩日吉神社（西平）の児持杉に次ぐ大きさで、地面に着くほど垂れ下った枝に特徴がある。越沢稲荷の御神木として親しまれている木である。
幹周り：6.05m(2002年計測)

❹砥石のヒノキ B－4

ヒノキ科の常緑高木。スギよりも生長は遅く、50年前後で伐採されることが多いが、このヒノキは山の神の御神木として守られてきた。合体している木はシデ（ソネ）である。前を通る道は、嶬峠（ぶなとうげ）への旧道を拡幅したもの。かつては峠越えで飯能市吾野との交流が盛んだった。地名の由来は、この辺で砥石が採れたからだという。
幹周り：3.72m(2002年計測)

❺カツラ C－4

カツラ科の落葉高木。渓流沿いなどの水気の多い山中に生育することが多い木である。丸みを帯びたハート型の葉に特徴があり、春の新芽、秋の黄葉ともに美しい。秩父地方の山間部ではごく普通に見られるが、外秩父のこのあたりでの生育は珍しい。株立ちはカツラの特徴で、この木の場合も多数のヒコバエが伸びている。
幹周り：3.00m(2002年計測)

◎凡　例◎
- 公衆トイレ
- 多目的トイレ有
- バス停・乗合タクシー共通乗降所
- 鉄　道
- 県　道
- 一般道
- ▲ 山

❿大イチョウ E－2

県道飯能寄居線の横、木のむら物産館近くにある。幹に深く刻まれたしわが特徴。晩秋になると美しい黄色の葉で、道行く人の目を楽しませてくれる。
幹周り：8.1m／樹高：31.8m
(2012年計測)
◆町指定文化財

❼スダジイ

C－2

慈光寺から町道を霊山院（りょうざんいん）方向に進み、坐禅堂の裏、水道施設横にあるシイの巨木。
幹周り：3.95m(2002年計測)

❽日影神社のスギ

D－1

スギ科の常緑高木。日影神社の御神木として親しまれている木である。推定樹齢400年。日影の地名の由来は四方が山に囲まれていることにちなむという。
幹周り：3.50m／樹高：15m
(2000年計測)

❾春日神社の杜 E－2

この森は、鎮守の杜として人々に親しまれてきた。冬でも豊かな緑の葉を見えたスダジイやアラカシ、タブノキ等の大木がこんもりと繁り、林内にはヤブツバキやサカキ等が多数育って風格のある照葉樹林となっている。この照葉樹林は、遠い昔の玉川地域の自然の姿を今にとどめている、ふるさとを代表する自然の森である。

ときがわ町観光協会　駅前案内所「ここから」
〒355-0354　埼玉県比企郡ときがわ町大字番匠475番地2
（JR八高線明覚駅舎内）
TEL.0493-59-8694
ときがわ町観光協会公式HP　https://www.tokigawa-kankou.com/